



第10回 (一社) 電力需給調整力取引所 運営委員会 議事録

1. 日 時：2025年11月5日(水) 15:30～16:05
2. 場 所：オンライン開催
3. 委員一覧(出席者)：

	氏 名	所 属
	跡上 勝久	九州電力送配電(株) 系統技術本部 運用計画グループ 課長
	綾田 真	四国電力送配電(株) 企画部 副部長 兼 技術計画グループリーダー
	岡田 怜	東京電力パワーグリッド(株) 系統運用部 広域給電グループマネージャー
	小柳津 政勝	東北電力ネットワーク(株) 電力システム部 中央給電指令所 調査役
	鹿野 祐介 (代理：元行剛 <small>もとゆきつよし</small>)	関西電力(株) エネルギー需給本部 電力取引グループ チーフマネージャー
	川口 公一	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 会長理事
	川崎 斉司	大阪ガス(株) 電力事業部 電力事業推進部 市場取引チーム マネージャー
	工藤 芳揮	旭化成(株) エネルギー戦略推進部 エネルギーセンターグループ グループ長
	新谷 宏治	北海道電力ネットワーク(株) 工務部 広域システムグループリーダー
◎	菅原 健一	中部電力パワーグリッド(株) 系統運用部 給電計画グループ グループ長
	杉原 健一	(株) J E R A 販売統括部 需給改革推進部 市場制度ユニット ユニット長
○	高間 康弘	関西電力送配電(株) 系統運用部 給電制度グループ チーフマネージャー
	中村 和平	北陸電力送配電(株) 電力流通部 広域運用チーム 統括課長
	鳴瀧 匡彦	東京ガス(株) 電力事業部 電力トレーディンググループマネージャー
	平尾 宏明	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 副会長理事
	増岡 裕樹	中国電力ネットワーク(株) 企画部 市場整備グループ マネージャー

※五十音順、敬称略、◎は委員長、○は副委員長



EPRX

一般社団法人電力需給調整力取引所
Electric Power Reserve eXchange

4. 議 題：

- (1) 今後の売買手数料単価について
- (2) 2027 年度以降の MMS におけるシステム改修の進め方について

5. 議事内容：

(1) 今後の売買手数料単価について

事務局より今後の売買手数料単価について説明があり、第108回制度検討作業部会における今後の手数料単価に関する審議を経て、至近の約定実績および見通しを踏まえた今後の方針について、運営委員会としての意見、提言を確認した。

鳴瀧委員：売買手数料単価の期中見直しを可能とする仕組みの導入については、国の審議会で議論が進められていることを承知しており、事務局の方針に異論はない。一方で、2026年度3月に予定する期中見直しの是非を今月中に判断するにあたり、どのような基準を設けているのか伺いたい。あらかじめ一定の基準を明示しておくことで、市場参加者の納得感を得やすくなるとともに、今後同様に期中見直しが必要となった場合にも、より機動的に対応できると考える。

事務局：最新の約定実績および制度面での議論状況を踏まえると、期中見直しの必要性は低下しているが、改めて精査のうえ、期中見直しの必要性が実際に低下していると言えるか否かについては、慎重に確認する予定。期中見直しを判断するにあたっては、その必要性に関する説明の妥当性が極めて重要であり、特に資金ショートリスクがどの程度残存しているかが重要な判断基準となることから、最終的な精査を進めていく。

鳴瀧委員：資金ショートリスクの程度を判断基準とするのであれば、その定義をより明確化し、明示いただきたい。基準が明確であれば、事業者としても売買手数料の期中見直しに対する納得感を得やすくなるため、基準の詳細化について検討をお願いしたい。

川崎委員：三点申し上げる。

一点目は、仮に売買手数料単価を期中で見直す場合、市場参加者への影響を軽減する観点から、一定の配慮が必要と考える。売買手数料上昇の背景には、揚水随意契約の開始による影響もあると認識していることから、当該契約の当事者に対して、売買手数料の一部を負担してもらうような仕組みの検討も一案ではないかと考える。この点について、事務局のご意見を伺いたい。

二点目は、前回の議論でも申し上げたが、売買手数料単価を見直す際には、上限価格の見直しも併せて検討いただきたい。仮に上限価格の見直しが難しい場合には、売買手数料の見直しが上限価格に自動的に反映されるよう、売買手数料は応札価格の外数として扱うようにルール改正を検討すべきではないかと考える。

三点目は、次年度からの週間商品の前日取引化により、揚水についても市場を介した取引が可能となると認識している。今年度は揚水随意契約の下で運用している事業者に対し、契約期間を本年度限りとするように働きかけてほしい。市場の



EPRX

一般社団法人電力需給調整力取引所
Electric Power Reserve eXchange

流動性を向上させることで、売買手数料への影響を抑制できると考えることから、市場運営者としての取組みを検討いただきたい。

事務局：一点目について、揚水随意契約に関する扱いは国の審議会において議論がなされており、調整力調達コストの最小化を目的に、市場取引・余力活用・随意契約といった複数の手段を組み合わせるポートフォリオが志向されている。現時点では、市場が十分に活性化していない状況であることを踏まえ、まずは市場調達コストの最小化を図る方針が示されており、その一つとして揚水の随意契約があり、審議会においても整理されていると認識している。よって、随意契約の当事者から取引所が手数料を徴収するといった考え方については、現時点では取引所として想定していないが、貴重な意見として今後の参考とさせていただきたい。

二点目について、上限価格は、その時々状況を踏まえ、資源エネルギー庁を中心に検討が行われているところであり、取引所としては、前回同様、寄せられた意見を踏まえ、引き続き国の関係個所と連携してまいりたい。

三点目について、揚水は現在も市場を通じた取引は可能であり、2026年度から初めて取引可能となるものではないと認識している。現状、揚水については市場取引と随意契約とが併存しているところ、今後、市場取引を希望しているにもかかわらず、何らかの制約により参加が困難となる場合には、取引所としてその状況を把握し、必要に応じて検討を進めてまいりたい。

川崎委員：揚水随意契約の扱いについては、国の審議会における議論を経て検討する必要がある点は承知しているが、市場を安定的に運営する観点、また市場参加者が積極的に参加できるルール作りも重要である認識につき、より良い制度作りに向け、是非、国の関係個所と議論いただきたい。また、揚水については、現在も市場を通じた取引が可能であることは承知しているが、現状の週間商品としての取引では参加できない揚水事業者が一定数存在していると認識している。国による過去のアンケート結果では、前日取引化によって多くの揚水事業者が参加可能となる旨の回答があったと理解しており、前日取引化によって参入拡大が期待できるのではないかと考えている。

事務局：週間取引であることから市場での取引が難しいとのアンケート結果がある点については承知している。前日取引化以降においても、市場取引に際して何らかの阻害要因が生じるような場合には、その原因を丁寧に把握し、取引所として必要な対応を検討してまいりたい。

菅原委員長：事務局は、引き続き内容を精査のうえ、必要に応じて国の関係個所へ働きかけいただきたい。また、次回の運営委員会において、意見募集の案を示されたい。

(2) 2027年度以降のMMSにおけるシステム改修の進め方について

事務局より2027年度以降のMMSにおけるシステム改修の進め方について説明があり、今後の進め方について、運営委員会としての意見、提言を確認した。

- ・ 制度対応案件については、実施年度が明確になったのは「蓄電池のストレージ式運用」に関する改修のみ（本項目は市場外の機能のため利用料の対象外）。
- ・ 市場運営に資する機能については、今後、改修項目の選定作業を進める。

川口委員：弊社では、長期脱炭素電源オークションで落札した蓄電池運用の開始に向け、各TSOと協議を進めているところ、蓄電池のストレージ式運用に関し、懸念している点がある。各TSOとの協議において、データ授受の方法等、システム面での考え方に差異が見られるのが実態である。事業者・アグリゲータとTSO間のデータ連携はMMSを通じて行われるものである以上、TSO間で同一の運用・仕様で対応できることが前提と理解している。TSO間で運用方針にばらつきが生じ、事業者・アグリゲータ側にシステム対応上の追加的な負担が発生することがないように、市場運営者としてTSOへ働きかけをお願いしたい。また、今後の対応方針やMMSのシステム仕様、スケジュールなどについても、できるだけ早期に情報開示をお願いしたい。

事務局：EPRXとしてもMMSの改修ボリュームは極力抑制すべきと考えており、そのためにも運用の標準化を図ることが重要である認識。市場外の機能であることから、事業者との連携については、各TSOにおいて検討が進められることになるが、EPRXとしても、仕様や運用方法にばらつきが生じ、多様なバリエーションが発生することのないよう、意見を伝えてまいりたいと考えている。

菅原委員長：事務局は、システム改修の必要性、また改修項目の選定について、検討を深めていただきたい。

菅原委員長：以上をもって、本日の議事を終了する。

以上